

観客数:681	開始時間:14:00	終了時間:15:42	試合時間:1:42	主審:原 啓之	副審:戸川 太輔
---------	------------	------------	-----------	---------	----------

ヴィクトリーナ姫路



監督：竹下 佳江
 コーチ：中谷 宏大
 通算：2勝0敗
 ポイント：6

3	31	第1セット (0:38)	29	0
	25	第2セット (0:27)	18	
	25	第3セット (0:31)	20	
		第4セット []		
		第5セット []		

ポイント 【】内はセット時間 ポイント
 3 ()内は交代選手 0

群馬銀行グリーンウイングス



監督：石原 昭久
 コーチ：須崎 杏
 通算：0勝2敗
 ポイント：0

<監督コメント>

2日間たくさんのご声援ありがとうございました。
 非常に厳しい戦いの中で、選手たちがよく勝ち切ってくれたと思います。
 “何としてもV1残留”から、来シーズンはさらに力をつけてV1のステージでよい戦いができるように頑張りたいと思います。

<監督コメント>

昨日の悔しい敗戦を糧に第1セットから相手のレフトに対しディフェンス陣が頑張り、終盤までタイトなゲームを維持できたが、「ここの一番」というところでボールが乱れ、悔しい形でセットを落としてしまった。
 第2セット以降も相手の圧倒的な攻撃力や守備力に負けたというより、大事な場面での「ワンプレーの精度」によって点数を取り損なう結果となってしまった。
 シーズンを通して培ってきたブロック力や攻撃力は、ある程度V1でも通用するというのを感じた2試合であった。
 来シーズンは「この経験」を基準として、さらにチーム力を上げられるよう頑張りたい。最後にシーズンを通し、たくさんの方の応援ありがとうございました。

31	松本	イブナ (清田)	第1 セット	新井	古市 (斉藤)	29
	吉岡	佐々木		鈴木 (坂本)	安福	
	堀込 (田中)	貞包 (高橋)		寺坂 (栗田)	小林	

リベロ: 溝口 リベロ: 吉岡

25	松本	イブナ (清田)	第2 セット	鈴木	新井	18
	吉岡	佐々木		寺坂 (栗田)	古市 (愛宕)	
	堀込 (田中)	貞包		小林 (坂本)	安福	

リベロ: 溝口 リベロ: 吉岡

25	松本	イブナ (清田)	第3 セット	新井	栗田	20
	吉岡	佐々木		鈴木	安福	
	堀込 (田中)	貞包 (高橋)		寺坂 (斉藤)	小林 (伊藤)	

リベロ: 溝口 リベロ: 吉岡

第4 セット						

リベロ: リベロ:

第5 セット						

リベロ: リベロ:

<要約レポート>

第1戦でストレート勝利をしたヴィクトリーナ姫路と、昇格には1セットも落とせない群馬銀行グリーンウイングスのV・チャレンジマッチ第2戦。
 第1セット、序盤から両チームとも攻撃陣が躍動し白熱の戦い。群馬銀行は小林、吉岡の好レシーブや鈴木ブロックが決まり、リードする。中盤も一進一退の攻防が続いたが、姫路は田中の活躍で流れを引き戻す。終盤、群馬銀行が堅い守りから反撃を見せ、鈴木、小林の攻撃の活躍で追い上げる。接戦が続くも、最後はイブナ、佐々木の連続ブロックポイントで姫路が接戦を制し、残留を決めた。
 第2セット序盤、群馬銀行は寺坂の活躍とセッター古市の巧みなトス回しで安福、鈴木が要所を攻め切り、リードする。中盤からは、姫路がイブナのブロックから流れをつかみ、リードを取り返す。終盤、姫路は田中の連続得点からリードを守り、セッター堀込の速い展開からの攻撃でセットを奪取した。
 第3セット、両チームとも一步の譲らない展開から、姫路は貞包、イブナがアタックを決め、リードを奪う。逃げ切りた姫路は松本のアタック、佐々木のブロックで連続得点し、引き離す。終盤、粘る群馬銀行を前に姫路は田中のアタックでリードを守り、リベロ溝口の好レシーブから松本がアタックを決め、ストレートで姫路が勝利した。

作成者：岡本 幸治